〔一〕　第六千五十四號　（日曜日）　磐城毎日新聞　昭和十六年三月二日　（大正十年四月二十一日第三種郵便物認可）

一日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□一部　税金五錢　賣金三錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓捨
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八〇五番
□郵便番號平市田町二十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人　森合英

閻魔帳

口は禍の因か

はの字

口は禍のもと、默するに如かず、口開いて五臟あらはすあけびかな、などゝ幼少の頃から聽かされたのが自分等の身にも心にも沁み込んでゐるお饒舌りであるな口數を少くせよ、寧ろ沈默が美德であるとまでされたのが東洋的の敎養であつたやうに思ふ。

ところが日頃宣傳と云ふものが素晴らしい勢で流行してゐる。何事にまれ宣傳第一の世の中となつて戰爭にも一つの戰術と云ふまでに取上げられて來た。事實宣傳の効果は大したもので殊に歐洲戰を中心とする現時の世界の騷ぎはまるで宣傳の投げ合である。

この宣傳は新聞や雜誌の文書宣傳もあるが、もとはと云へば口である。書いたものよりも口から耳へ直接注ぎ込まれるものゝ方が大きな力である、我々が新聞や雜誌で見ることよりも其の途の人から其のことを聽かされることにより引つけられる、だからラヂオ宣傳と云ふのが大きな力と認められてゐるのだ。

本當の宣傳は口である樣だが口では甚だ範圍が狹い、それを補ふものは文書でありラヂオであるのだが範圍が擴まるだけに効果が薄くなる語る人の姿のないのが物足らぬそれも今では補はれつゝあるのだが、口が大したものとなつたものだ、日本人が兎角歐米人にしてやられるのは沈默を立派なものと敎へられたことに原因なしとは云へぬ。

長生きの話

（五）

松村亨

秦の始皇帝の昔から不老不死の藥には幾多の夢のやうな話がある。中學時代に讀み耽つて怒られた江戸末期の戯作本には長命丸や延壽丸等の廣告が出てゐたが、式亭三馬の浮世風呂には仙方延壽丹の廣告が盛んに出てくる。これは京都田中宗悅製で關東賣弘所江戸本町二丁目南側式亭三馬店とあり、はちみつねりやくで「大ていの病は二朱分用ゐて効あらはるべし御老人つねにたゝず用ひ候はゞ一生無病すこやかなるべし」とあるが「一生無病」など云ふ言葉は、「死ぬ迄無病」「死ぬ迄生きられる」等云ふ言葉と同じ樣で可笑しい。

牧墨僊の一宵話には封（ほう）の話が出てゐる。これは家康が駿河にゐた時或朝御庭に「形は小兒の如くして肉人とも云ふべく手はありながら指は無く指なき手をもて上をさして立ちたる」ものがあつた皆驚いて變化の物かと騷いでゐたが追ひ拂へと云ふことになつて山の方へ追つてやつた所が後で或る學者がこの話をきいて「さて〳〵惜しい事をしたこれこそ封と云ふもので此を食へば多力となり武勇にすぐれ不老不死となるのだつた」と。

官界新体制の根本は心の持ち方である。民間人はこれを生かして使はねばならない。實効が目的である。形式を整へることは從である。（住田）

フリージヤ

（平）

水戸部光雅

白く氣高きフリージヤ
汝の姿を見入る時
はかなき野末の露のごと
消えにし友を思ふかな
汝が此の世に香る時
寂しくあの世へ旅立ちし
友の御靈を思ふかな
やさしく香れフリージヤ

雪艇譜

渡邊何鳴

雪艇を驅り月明の五色まで
月明に蒼き雪嶺を窓にせり
雪山のひかりを夜半の窓にせり
ほのあかき空に雪嶺は明けそむる
風雪を往くわが技をうたがはず

連續講談

異說赤穗浪士

（137）

桃川若燕　城木喬　畫

銀冶屋藤助の淺慮

『有難う存じます』

藤助を始め十一人、大悅びで自宅にかへる。藤助は女房を向ふへ廻して酒を呑んでゐると

『オイゐるか、ゐねえか、もうろくはゐるか……』

と入つて來た者がある、

『誰だい、そんな事をいうてヤアこりや兄さん、よく來なすつた。上んなはれ』

『余りよくも來ねえや、オイもうろく』

『何んのこと、もうろくとは、マヤ兄さん一杯つけますから』

『いやだ、こんな氣持の惡い盃俺はつけねえ……時に馬鹿野郎、金は儲かつたらう』

『大層怒つてゐなさる』

『當然だい、怒つていゝ事があるから手前の云ひ草によつちやア踏み倒して呉れようと思つて來たんだ』

『何やマア落着いて、兄さん醉つてゐなさらぬのに何んぞそないに怒りなはるのや』

『酒をくらつて來ると酒のためだとかういはれるのが口惜しいから今日はしらふだ。オイ手前ぐれえ不人情の奴はねえぞ』

『何んで』

『何んでとは何んだ、オイお前には假名で書かなくつちやア判らねえのか、オイ仕事の判らねえ時にはこれはどないに拵へるものだ、こゝは斯うしたらばいゝだらうなんて乃公に相談をしやがる。乃公はうと思つて探したんやけれど兄さんがゐやはらんので……

『ナニツ馬鹿をいふない、知つてゐながら入れやがらなかつたんだらう』

『それは私が惡い、勘辨して此の春に又仕事が出來る、濟まんけれど心持を直してその時中に入つてもらひたいがどうやらう』

『乃公の方で眞平だ、今喰ふものがなくたつて氣持の惡い仕事は出來ねえ、江戸つ子だマア一人で仕事をして金をもうけて金が出來た時分に死たばりや……冥土へ持つてゆかれるぜ』

『マアさういはんと心持を直して一杯やつてくんなはれ』

『兄さん家の人もあゝいつてゐるんですから』

と女房も一緒になつて謝まる。

馬鹿だから兄さん〳〵といはれてその煽動にのつてよくいふ話だが兄貴は馬鹿の通り名で乃公にきく度にしつかり敎へてやる仕事の秘密隨分お前はそのために力を得て下らねえ弟子に大面をしてゐるのもその仕事の極意だ、種出しは俺ぢやねえか』

『イヤそれは存じて居ります それだに依つて私は決して貴下を粗末に扱はぬつもりや、仕事の神さんやに思うてな……』

『巫山戯るない、口先ばかりの仕事の神さんが何んだ、それぢや云つてきかせるが今度天野屋で大仕事があつた、錢儲けは手前一人でやつて、その外は口先でごまかして、仕事の分らねえ所は乃公から引き出すたアあんまり不人情なやり方ぢやねえか、お世辭にもかういふ仕事があるから行かねえかといふのが當り前だ乃公ア決して行かうとはいはねえ、マア金儲をしろい、その代り乃公は一杯呑むぞと輕く上げてやるつもりだ、いいか、乃公を出し抜きやがつてはした人足を連れて天野屋の大仕事たんまり儲かつたといふ事は他所ながらきいてゐるお前はまだ俺の目から見たら一人前になつちやアゐねえ、半人前だ、乃公ア仕事に慢ずる譯ぢやねえけれども、手前の仕方があんまり不人情だ、どうだ判つたか』

『イヤ、それは兄さんの云ひなはる事は尤もや、私が惡い眞は兄さんに中に入つて貰は

生徒募集
學舍長　法學士　大和田良忠
中等科　男百名
專修科　男女百五十名
教員養成科　男女五十名
磐城佑賢學舍（電話九三番）
◇校史三十年卒業生四千余名
銃後青少年錬成の道場

新時代の要求
附屋事業に於ける看護婦を特設いたし出張の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します
平市南町　電三〇七　平看護婦會
會長　清野キヨ
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭
經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します

メガネの店
早期檢眼
正確な眼鏡により視力を保全致しませう
各眼科醫指定處　眼鏡調製
玉屋眼鏡店　平市二丁目　電話635（呼）

三宅式「視力安明」（店頭用）
專賣
ハマーチ
五十錠入　一一〇
百錠入　二、〇〇
徳用罐　五、〇〇
特約店　平市五丁目　山野邊藥局

姓名鑑定
疾病、職業、天運、家族運、男女緣
名前のみで一代の運命がわかる……
平市紺屋町　鵜沼孝昌

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、ベニヤ板、建具材、木羽、便利瓦
建築木材一式
織田材木商店
製材工場　平市　電四九〇番　磐越東線赤井驛前（大作場）電二三五

トンカツ
こんかつ專門の店
平市仲田町　かの家
電話四六五番
出前は迅速にお つとめ致します

フクロク・ストーブ
入荷のお知らせ
◎久敗品切れ致し居りましたが此度少々配給入荷致しました
◎此度の入荷で當分入荷の見込みはありません
御入用の御方は品切れにならぬ中に成るべく早く御注文下さい
【御希望の方へカタローグ「公定價」を差上げます】
平驛前　阿部石炭店
電話37番、137番

新体制下の女性に
◎社會待望の高尚なる婦人職業
◎又は日赤志願の準備として
産婆看護婦をお奬め致します
三十六回　生徒募集
平南町　産婆看護婦學校へ
◎今申込の時期
平産婆看護婦學校
電話三〇七番

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD－8號　微電界級　MS－100號　微電界級
ダイナミツク
使用眞空管　マツダ　12F　47B　57　58　㊗¥73·70
使用眞空管　マツダ　12F　47B　57　58　㊗¥52·60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り（電呼166）

手術室完備
外科專門　野村外科
小名濱町古港　元津村屋跡

根本婦人科醫院
平市南町　電話三四番
入院隨時
根本莊次郎　根本貞雄

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
平驛前　電三三六
高柳醫院
醫學博士　高柳博明

附屬産院　新設
妊産婦入院隨意
産婦人科
木村病院
平市新川町　電話一六四番

病室增築、手術室完備
産科　醫學博士
婦人科　五十嵐雄二
平市新川町「電話三六九番」

內外科　腸一般外科
肛門病科　性病科
▽入院應需△
平市南町（警察署通り角）
木村外科醫院
木村淳　電話三〇九番

內科　小兒科　物療科　四倉町本町
◎入院隨時◎
菅波醫院
電話六三番

氣分のよい
皆樣本位の
喫茶と洋酒
小名濱町上町
紅椿
【女店員募集】

平支部第二回 理事會開く
下部指導・實踐運動開始

翼贊會平支部の第二回理事會は今一日午前十時から市長室に開いた、出席者は
關内、蓮沼、山崎、大森、猪狩、萩原、野崎 喜）
（伊藤、大嶺、市井氏欠席）
の七理事で市支部結成式に關しては縣支部から何等の指示無く、事務局の機構、人件費等の關係を考慮するの必要から當分留保することになり、下部組織の指導並に横の連絡について次の事項を協議した

◇講演會
六日四倉町の講演會に臨席する前伊太利駐在武官海軍軍務局第四課長平出大佐並に八角中將招聘を交渉する

◇推進員推薦
翼贊運動に理解を有つて挺身活動に當る有識者を選ぶ

◇市常會への意見
七日に開く市常會へ節米運動について實際行なはれてゐる狀況、代用食として實踐されてゐるもの、食糧增産方法について意見を求め實踐方法を研究する事等々提議

◇横の連絡
生産部門と消費關係者の意見を聽く、即ち産業團体、農業團体その他各生産關係者と一堂に會し翼贊運動に關して實見を交換協力を求める

食糧增産實行に
奬勵委員任命
獨自の計画で增産確保

戰時下の食糧增産に農事關係者は論を俟たず各公共團体、學生隊まで繰り出し、勤勞奉仕隊を組織するなど目覺しい活動を續けてゐるが、素人の鍬部隊は掛聲ばかりで概して實績が擧がらない爲農林省では全國の篤農家を勳員『食糧增産實行奬勵委員』を任命し新年度に於て增産の能率を擧げることに決定、石城郡農會管内の市町村から約八百名の委員が任命され、今一日農會からそれ〴〵委員囑託證を交附された
この實行奬勵委員は平市二十四名、各町村二十六、七名宛で各市町村は獨自の立場から研究を重ね食糧の增産計畫を實行に移すことに成る

物資節約と
廢品活用

大日本電力平事務所では時局に鑑み管内二百數十名の從業員から「物資の節約と廢品活用」に關し細心の注意と認識を深むる目的の下に懸賞で標語を募集した處七十七名、二百三句の多數に上る應募者あり嚴選左の如く入賞者決定
◇一等
『これも捨てずに今一度』

學期末で求人殺到
平指導所の銓衡日割決定

平國民職業指導所の一日から五日までの銓衡日割は次の如く決定した
△三月一日、光立モスリン會社、日本絹糸會社、近江絹絲會社、太陽レーヨン會社△同二日、大日本紡績關原工場、大日本紡績大垣工場、大日本紡績重井工場同大高工場、同一の宮工場△三日、關東紡績平塚工場富士紡績保土谷工場△四日富士紡績平塚工場、日新紡績濱松工場、日東紡績郡山第二工場、同第三工場△五日、郡山製絲工場、郡是製絲本宮工場

平授產場增築
三日上棟式擧行する

平授產場擴張工事は兼ねて基礎工事中だつたが三日上棟式を擧行することに成つた
上棟式は同日午後一時から授產場に執行、助成會側から青沼會長、伊藤副會長、方面委員並に市會議員、工事請負者堀江工業會社が出席する
尙ほ同工事は現在の進捗狀態で行けば豫定より一ケ月早く三月一ぱいで切り上る模樣である

勿來町會
豫算案附議

勿來町の明年度豫算は六萬二千圓で來月三日町會を開く、昨年度より一萬五千圓の大減額である、昨年は字石井作溜池工費一萬四千圓、縣道補助工事に千圓の臨時費を支出して居り同工事完了に依るものである

明年度豫算市會
八日招集・内示は五日頃

平市明年度豫算は學務、警防、土木の各委員會關係の審議もすへ目下數字を整理中で五日頃市會議員に内示し豫算審議の市會は八日招集することに内定した

◇二等
『節約は先づ職場の用具から』小川發電所、滿山林平
◇三等
『捨てる廢品工夫で活かせ』平出張所、愛川喜平
◇佳作二篇
『惜しむな勞力無駄すな材料』小名濱營業所西山 榮
『節約は口先よりも手先から』 平發電所 坂本秀雄

大瀧發電所
委員會開く

折衝方法其の他協議
平市大瀧發電所委員會は今一日午後一時から市會議事堂に開き會社側と縣當局に折衝する方法其の他具体案を協議した

鯨岡の用水路
復舊地鎭祭

植付前に竣工する
平市大字鯨岡地内用水路復舊工事は過般の市會で追加豫算を認められた爲春の植付前に完成せしむべく明二日地鎭祭を執行し直ちに着工することに成つた
總工費六千九百十圓（内一千余圓地元負擔）巾六十糎深さ四十五糎、延長七百六十米をコンクリートに改良するもので四月二十日竣工する豫定

新川改修
促進委員會

平市の新川改修促進委員會は明二日午前十時から市會議事堂に開き、夏井川改修事務所長加藤高義氏が出席して潰地買收問題に關し經過を述べ市委員會の援助を求める模樣である

酒造業者合同で
合成酒釀造
郡下で年產九百石

石城酒造組合臨時總會は二十八日午後一時から平稅務署に開き合成清酒免許申請の件、組合長任期滿了に付き選擧の件を審議の結果、平稅務署管内三十六釀造元が合同
△平市平窪、松本金市郎△小名濱、小野晉平△高久村矢吹清貞△植田町、古川傳一の四酒造工場を共同經營、年產九百石を目標に合成酒を釀造することに成り同日仙台稅務監督局に認可申請したが四月から開始する計畫である
尙ほ任期滿了の組合長改選は草野良太郎（小名濱）氏が重任

牛にも戶籍

所有者は役場で登錄
從來本縣には馬籍はあるが牛籍は無く動きが激しい爲所有者も判らぬ場合が多く爲に縣令で二月一日より牛籍を設け馬籍取扱と同じくなつたので現在所有者は市町村役場に申告し牛籍簿に登錄する事が必要となつた

小學兒童の美化作業

興亞奉公日の催し
四倉小學校尋常科三學年生以上の兒童は今一日朝午前七時を期して町内の神社、佛閣、道路、海岸等の美化作業を行つた

墓地清掃

四倉の享樂業者自肅
四倉町第三種料理屋保健組合の姐さん連中十餘名は今一日の興亞奉公日を期して戰病死者の墓地清掃を行つた

郡下明年度の縣道改修

守屋技師一行視察
平土木監督所管内石川ー湯本線、三株ー勿來線の二縣道は何れも目下改修工事繼續中であるが十六年度工事として更に豫算面に計上、このため二十六、七兩日守屋技師が縣から來郡、前記二縣道改修狀況を視察した

鮮魚の公平な分配
區域を定め担任者制採用

小名濱鮮魚商組合では鮮魚の圓滑且つ公平な分配を目的として水揚魚類に對し方部制を實施平組二ツラ、湯本行き二ツラ、内郷組一ツラ、植田行きは一ツラ、と第六班に別ち所屬商人に組長を置き公平妥當なる分配と販賣網を布く事になつた

江名豫算町會
總額十五萬二千余内 第二校新築費は追加

江名町會は昨二十八日午前九時から開き明年度豫算案を附議した、豫算總額は十五萬八千二百三十七圓で前年度更正豫算に比し八千二百二十圓の減額を見てゐる
同町では新年度から永崎分教場を第二小學校に昇格せしむることに成つた爲、同校舍を約二萬五千圓で新築すべく臨時費として追加上程する模樣である

銃後の赤誠

平市新川町十四番地國井辰三さん外七名は二十八日慰問袋一個を市役所に寄託
× ×
平市禰宜町二番地河田浩さん外七名も同樣二十八日市役所に慰問袋一個を寄託した

四倉銃後會で
慰問金贈る

四倉町銃後奉公會では軍友會員・行政區長・役場員、在郷軍人分會員等の協力を求めて過般傳馬船組合より寄附された金五百圓を出征軍人並に戰病死者の家庭を訪れて慰問金として贈つた

稅務事務研究

縣稅務出張所濱三郡下事務研究會は今一日から二日間平署會議室に開く

榮養講習

今一日から二日間平保健所で職員健康保險施設に關する榮養改善講習會開催

平市慶弔錄

【出生】△平市材木町二十二番地綠川只助長女節子さん△平市古鍛冶町七番地遠藤節子さん△平市正月町十六番地高萩武重二男重夫さん本籍平市下平窪字鍛冶内五十七番地現住所朝鮮慶尙北道盈德郡則武一元三男翼さん

商況

（日一）

天氣豫報

今晚 北西の風よい天氣です

訪問記（下）

紀元二千六百年記念に建てたといふ櫻丘會館に案内された。これは圖書館鄕土館を兼ねてあつて、同窓會と校友會とで建設したものださうである、瀟洒たる建物で階下は鄕土館と圖書館になつてゐていろいろの鄕土資料の陳列があり、圖書館には千五百部の圖書を備へて毎日放課後生徒に開放して閲覽させてゐるといふが落着いて好い室だ。町に圖書館がないのだしよしあつても女學生が町の圖書館に出入出來るものではなし、文化的には町全体がおくれてゐる。といつて夫や子供を放りなげて本ばかり讀むやうでも困る、兎角女學校の先生は生徒の指導がむづかしい。
階上は花嫁學校、櫻丘會で來て縫はせるさうである。
次は洗濯室、是は寄宿舍の浴室兼洗面所を改造したものださうで、先生と小使が主となつて作つて、仕あげだけを職人にまかせたものださうである、コンクリートで作つてある。
教室と教室の間の植込みも好く出來てゐる。
『時局に就いて特別な施設のやうなものでもありましたら』と伺つたら
『慰問部といふのがあつて松浦先生が主任で、慰問袋の作製、慰問文發送、遺家族の農事手傳、家庭慰問、墓參等をやつてをり、時々講演もやる。立關の所れ歐州と支那の地圖を張り、新聞の切拔、アサヒグラフ等を掲示してゐる』
と答へられた。學校の体位向上については次のやうにお答へになられた。
『先づ健康な婦人を作ることが大切だ。健康な妻健康なお母さんは家庭を明るくするばかりでなく、國家の將來にとつても大切なことで此點男子よりも女子の方が健康が大切である。そこで本校では種々の方法を講じて体位の向上をはかつてゐる。私は生徒訓育は教室だけでなく、運動場に於てより多く行はれると信じ、教員の採用も此方針に從つてやつてゐる。私もテニスを少しやるが、昔つて本校に石山平作といふ東京高師の体育科出身の教員を採用したことがある。丁度カナダ籠球軍が來た時、石山君は選手として非常に活躍したそれを新聞で見た私は早速母校に是非採用したいと申込んだので・在職は一ケ年だつたが、本校籠球部はこの先生のため非常に強くなつて、その年に日本のオリピック選手候補十人中の二名迄本校選手の占める所となつた。石山君は今、文部省体育官補になつてゐる。私は全校に運動を奬勵するために各級對抗競技だの學年對抗競技だのをさせ、一方体育に依る精神訓練といふことも重視してゐる。それゆゑ運動に偏したりしないやうに『生徒學業成績体格比較表』といふものを作つて各人の成績と運動との平衡に注意してゐる』

公立中等校巡り（2）
文化施設の櫻丘會館に
家庭教育 花嫁學校
（二）磐城高女の巻

◇
校友會の豫算面を見ると圖書部が二百二拾八圓、鄕土研究部五拾六圓となつてをり圖書館費は相當の豫算をとつてゐるやうである。其他文藝部二拾二圓、美術部八拾二圓雜誌部四百八拾二圓となつて文化的方面に相當の考慮がはらはれてゐることが窺はれる

ニツサントラック
新型發表會
明二日平營業所に開く

日產自動車株式會社が某方面の要望に應へて研究を重ねてゐたニツサントラック普通型一八〇號は遂に完成し、いよ〳〵一般市場へ進出することになり國產の威力を示す新車の發表が明二日平市南町ニツサン平營業所で行はれる
この新型トラックは帝都に於ける發表會で斯界の權威者も讃歎した優秀車で友邦滿支方面より多量の注文を受けて居り國内の旺盛な消化に應じ切れるかを心配されてゐる程である

機構特色
◇普通型となつた
機關室の通風良く、過熱を防ぎパイプ内のガソリンの氣泡化によつて流通を防げる所謂ペーパロックの故障が防がれ、又電氣系統の過熱による故障も減少機關の手入れが容易である運轉座席は廣濶となり、樂々と三人乘れる
◇エンジンにタイミング、ギヤを採用
永久に使用されるベークライト、ギヤに改良した
◇大型ラジエーターを採用
耐久力あるチューブ式ラジエーターを採用し風洞式ガイドを設けて冷却効率を高め、絶對にオーバーヒートを防いでゐる
◇更に頑强なる後車軸を採用

覇車 ー80型（トラック）
新型 ニツサン 號發表
斯界待望の新型車を愈々三月二日陳列發表致します
◇機構特色
機關室の通風良く過熱を防ぎパイプ内のガソリンの氣泡化に依つて流通を防げる。所謂ベーパーロックの故障も防止、又電氣系統の過熱に依る故障も減少される。機關の手入が容易である、運轉座席が廣濶となり三人樂々と乘られる
▽エンジンにタイミングギヤを採用△大型ラジエータ採用△更に頑强なる後車軸採用
期日 三月二日（日曜日）
場所 福島ニツサン自動車販賣株式會社 平營業所 平市南町 電話三八一番

明日 朝夕北西の風日中南西の風晴れですが一時雲が出ます
▲一白 希望計畫のみ大にして實蹟之に伴はざる日
▲二黑 利益有りと知りながら實行準備調はざる日
▲三碧 勇氣のみ盛にして沈着を失ひ不利となる日
▲四綠 外出先にて悶着起らんとす内を守るが安全
▲五黃 虛飾を張りて内輪は苦痛を增さんとする日
▲六白 自ら過つ事はなけれど他より災禍を蒙る日
▲七赤 浮調子は敗北の基熟慮して萬事を處すべし
▲八白 堅實なる精神を以て進めば災害を免かる日
▲九紫 舊を捨て新を望むときは破敗を呈すべき日
一白 五黃 二黑 三碧 四綠 六白 七赤 八白 九紫
舊曜日 新曜日
月 日 赤口 己酉 危 房宿 二日

募集
三輪車（ボート）運轉手見習
年齡 高卒程度の十五ー六才位意志强固なる少年
待遇 本人來談、面接の上決定す
平市新川町角 佐藤石炭店

謹告
定休日 毎月二回（第一日曜日 二十日）
從來毎月二十日を公休日と定めて居りましたが、新休制に即應し、店主店員の修養日として新たに第一日曜日にも休業することになりました
貸賣廢止
凡ての取引が現金化致しましたから在來の掛賣通帳賣を廢止することになりました御諒承願ひます
公定價格嚴守
販賣商品の價格に疑はしき點ある場合、遠慮無く當事務所電話二二三番へ御問合せ下さい
昭和十六年二月 平市田町銀座通り 平菓子商業組合 電話223番

日立製作所指定工場 機械製作舶陸 一般鐵工業 丸八鐵工場 場主 倉兼常八 小名濱町 電一七五

御會葬御禮
昭和十六年三月一日 平市四軒町十八番地 佐々木高滋